特集 持続可能な公共交通の確立に向けて

小松市ライドシェア“i-Chan（あいちゃん）”

近年、全国的に公共交通をどのように維持していくかが課題となっています。今回は、市が進める持続可能な公共交通の確立に向けた取り組みの1つ、小松市ライドシェア「愛称：i-Chan」について紹介します。

問い合わせ
地域振興課　☎24・8396

公共交通の現状と課題

小松市における公共交通の課題は、主に下記の4つです。市民の移動を確保する対策が必要となっています。

ドライバーの不足や高齢化

今年からドライバーの労働環境改善のため、労働時間などの規制が強化されました。これによりドライバー不足は加速すると見られており、公共交通のない地域や時間帯の拡大が懸念されています。

高齢者による事故や免許返納

団塊世代の高齢化で、免許を返納し自家用車から公共交通での移動を必要とする人が増加しますが、公共交通のない地域や時間帯もあり、利便性が不安視されます。

路線バス利用者の減少

令和元年から令和5年の間に、路線バスの利用者は約75％に減少しています。

行政負担の増加

バス路線の維持や、利用促進のためのらく賃パスポートにかかる費用が、この10年間で約1.3倍に増加しています。

交通弱者を作らない！持続可能な交通体系へ再構築

市では、交通弱者を作らないために、新技術や新制度、新サービスの活用や、それによる省人化を駆使し、様々な交通モードを組み合わせることで、誰もが行きたいときに行きたいところへ行ける社会の実現を目指しています。

i-Chanの運行が始まっています

3月22日にi-Chanの本格運行がスタートしました。市が実施主体となり、地元のタクシー会社が車両の安全管理やドライバーの研修をサポートしています。

まずは能登半島地震の被災者を支援する「復興ライドシェア」として2月29日にスタートし、北陸新幹線小松駅開業に合わせて、市内全域への本格的なサービスに拡大しました。

＼ i-Chan体験レポート！ ／

まずは事前予約　予約時間に指定の場所へお迎え　安全運転で送迎します

スムーズに到着！

感 想

先日ちょうど電車で出かけた時の帰りに、駅でタクシーが捕まらなかったことがあったんです。今回i-Chanを体験してみて簡単だったので、次回はぜひ使ってみようと思います。

運行情報

運行日	毎週木・金・土曜日 ※ドライバーの体制が整い次第、毎日運行予定
運行時間	17時～24時（予約の受け付けは23時30分まで）
運行区域	小松市内全域　※発地または着地が小松市内であれば、能美市・加賀市での乗降も可能
対象者	市民、来訪者、能登半島地震の二次避難者
運賃	市民及び来訪者：タクシー料金の約8割 能登半島地震の二次避難者：無料
支払い方法	市民及び来訪者：PayPay、クレジット決済 能登半島地震の二次避難者：無料クーポン
予約方法 電話による予約	専門アプリ「いれトク！」または電話 ☎050・3493・0068 受付時間：運行日の16時～24時

詳細はこちら▲

ドライバー募集！

自家用車を使用してi-Chanの運行をサポートしてくれるドライバーを募集しています。対象の条件や報酬、申し込み方法など、詳しくは市ホームページをご覧いただくか、地域振興課にお問い合わせください。

無料キャンペーン実施中！

アプリをダウンロードして利用した人を対象に、3回無料で乗れるキャンペーンを開催中です。この機会にi-Chanに乗ってみませんか。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

※タクシーが不足している夜間に運行しています。タクシーが捕まらないときに活用してください。

市ではこれからも持続可能な新しい公共交通の確立に向けて、取り組みを進めていきます。皆さんも様々な交通手段を活用して、これからの公共交通の在り方について一緒に考えていきませんか？